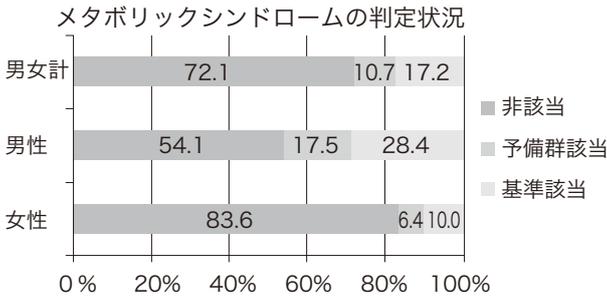


## 津市特定健診の状況

平成22年度の特定健診の状況をお知らせします。

40～74歳の対象となる5万2,507人に受診券を送付し、受診者数は1万6,077人(男性6,289人、女性9,788人)で、受診率は30.6%でした。特定健診の主な検査項目の結果は、次のとおりです。

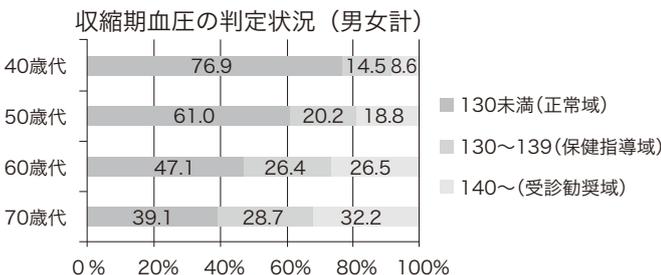
### ■メタボリックシンドロームの状況



メタボリックシンドロームの判定状況を見ると、予備群該当と基準該当と判定された人は、男女計で27.9%ですが、性別で見ると、男性45.9%、女性16.4%と大きく差があります。日本では、男性2人に1人、女性5人に1人が、メタボリックシンドロームに基準該当・予備群該当といわれ、津市でもほぼ同様の傾向になっています。

※メタボリックシンドローム…腹囲が、男性85cm以上、女性90cm以上に加えて、脂質・血糖値・血圧のうち2つ以上が基準値以上の場合、基準該当になり、脂質・血糖値・血圧のうち1つが基準値以上の場合、予備群該当になります。

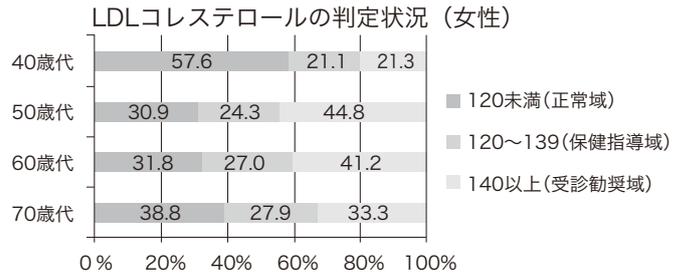
### ■収縮期血圧(最高血圧)の状況



収縮期血圧の判定状況を見ると、保健指導域または受診勧奨域と判定された人は、男女計で52.7%、男性54.5%、女性51.6%と男女差はあまりありません。グラフから男女計の年代別で見ると、年代が高くなるにつれて、保健指導域と受診勧奨域の人の割合は増えています。

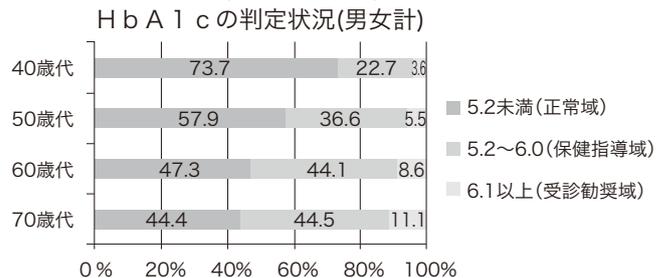
※保健指導域…医師等の専門家に指導を受け、生活習慣の見直しが必要  
受診勧奨域…医療機関を受診し、医師への相談が必要

## ■LDLコレステロール(悪玉コレステロール)の状況



LDLコレステロールの判定状況を見ると、保健指導域または受診勧奨域と判定された人は男女計60.0%で、全ての検査項目の中で最も割合が高くなっています。性別で見ると、男性52.9%、女性64.6%と女性の方が男性よりも高くなっています。全ての検査項目の中で、男性よりも女性の方が割合が高いのは、LDLコレステロールのみです。また、グラフから女性の年代別状況を見ると、40歳代から50歳代にかけて急激に増えています。これは、閉経による女性ホルモンの減少が原因の1つと考えられています。

### ヘモグロビンエーワンシー ■HbA1c(血糖検査)の状況



HbA1cの判定状況を見ると、保健指導域または受診勧奨域と判定された人は、男女計で51.3%で、男性52.5%、女性50.4%と男女差はあまりみられません。グラフから男女計の年代別状況を見ると、年代が高くなるにつれて、保健指導域と受診勧奨域の人の割合は増えています。

### ■毎年続けて受診を

このように特定健診を受けると、自分では分からない体の状態を知ることができます。また、毎年続けて受けることで、その変化に気付くこともできます。

健診データを見ると、40歳代でも体に変調が起きています。高血圧・脂質異常症・糖尿病などの生活習慣病は、初期には自覚症状がありません。気になる自覚症状が出てから病院を受診すると、重症化しているということが多くみられます。

毎年、特定健診を受けて体の健康チェックをし、生活習慣を見直すことで健やかな生活が送れます。ぜひ特定健診を受けましょう。